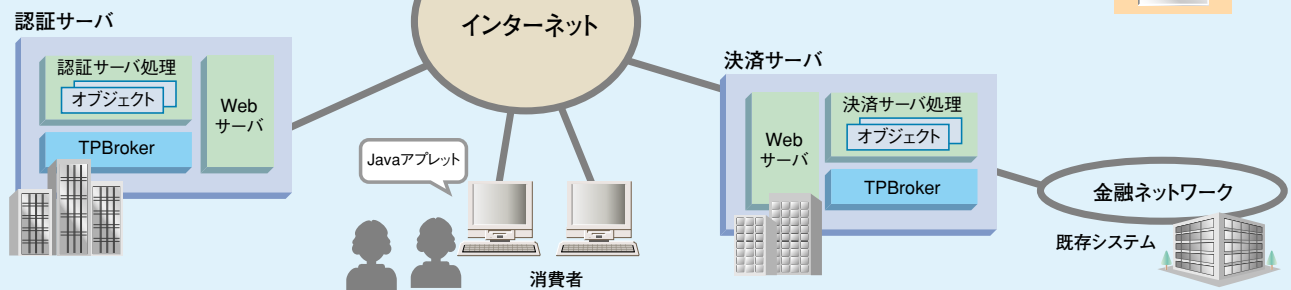


活用例

**的確なオブジェクト制御による
高性能ECシステムを実現**

TPBrokerがマーチャントサーバにある
オブジェクト群を制御。
クライアントのアクセス要求に対して
適切なサーバオブジェクトを提供します。



■テクニカルサービス

分散オブジェクト技術によるシステム構築に不
可欠な基礎教育から、TPBrokerのプログラミ
ング技法や性能診断を支援するテクニカルサ
ービスまで、さまざまなメニューをそろえ、あなた
のシステム構築をサポートします。

プログラミング支援	分散オブジェクト システム構築支援	性能診断支援
定義チューニング支援	RMとのXA連携支援	問題点解決支援

■プロダクト一覧

Java環境	TPBroker Developer for Java	TPBroker Java開発環境
	TPBroker for Java	TPBroker Java用ランタイム、追加用ランタイムライセンス
	VisiBroker Gatekeeper	VisiBroker Gatekeeper
C++環境	TPBroker Developer for C++	TPBroker C++用開発環境
	TPBroker for C++	TPBroker C++用ランタイム、追加用ランタイムライセンス
Java/C++共通	TPBroker Object Transaction Monitor	TPBroker OTMサーバ
	TPBroker Object Transaction Monitor-Client	TPBroker OTMクライアント
	TPBroker Object Transaction Monitor-Connector for Object Request Broker	ORBゲートウェイ機能

- AIXは、米国における米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Borlandのブランド名および製品名はすべて、米国Borland Software Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- CORBAは、Object Management Groupが提唱する分散処理環境アーキテクチャの名称です。
- HP-UXは、米国Hewlett-Packard Companyのオペレーティングシステムの名称です。
- IIOPは、OMG仕様によるORB (Object Request Broker) 間通信のネットワークプロトコルの名称です。
- JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴ、Solarisは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems Incorporatedの商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows NTは、米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

- 製品仕様は、改良のため変更することがあります。
- 本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法並びに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。
なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

製品に関する詳細・お問い合わせは下記へ

- 製品情報サイト
<http://www.hitachi.co.jp/soft/tpbroker/>
- インターネットでのお問い合わせは
<http://www.hitachi.co.jp/soft/ask/>
- 電話でのお問い合わせは **HMCC** (日立オープンミドルウェア 問い合わせセンター) へ
☎ **0120-55-0504** 利用時間 9:00~12:00、13:00~17:00 (土・日・祝日・弊社休日を除く)

株式会社 日立製作所 情報・通信グループ ソフトウェア事業部

実現するのは、
ビジネスクリティカルな
分散オブジェクト環境。

TPBroker v3

業界標準CORBAによる分散オブジェクト環境で フレキシブルなシステム構築を実現します。

従来システムにはない柔軟性、アプリケーション開発の高生産性を実現する分散オブジェクト環境。TPBrokerは、この分散オブジェクト環境の業界標準規格CORBAを採用し、オブジェクトの管理やオブジェクト間通信の制御を実現する分散オブジェクト基盤です。また、トランザクション機能も提供し、例えば、社内システムにインターネットを接続して不特定のクライアントに対してEC業務を行う柔軟なトランザクションシステムなどを構築できます。

CORBA: Common Object Request Broker Architecture EC: Electronic Commerce

こんなニーズに、

TPBroker v3

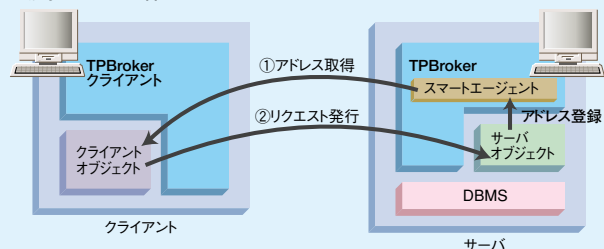
- 既存システムと接続して、新システムを構築したい。
- インターネットを利用して、社内システムを再構築したい。
- 分散するアプリケーションを統合して、新システムを構築したい。

ネットワーク上のオブジェクトの相互作用を管理

●動的なオブジェクト管理

オブジェクトを起動した際に場所を記憶するため、事前のオブジェクト配置定義が不要。オブジェクトの配置は容易に変更できます。

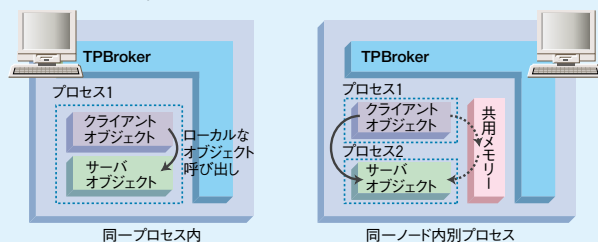
動的オブジェクト管理



●最適な通信機能を選択

アクセスしようとするサーバオブジェクトの場所が、クライアントオブジェクトと同じプロセス上か、あるいは、同じノードの別のプロセス上か、もしくは、別のノードなのかを判断し、自動的に最適な通信機能を選択します。

スマートバインディング



自在なシステム構築・運用を実現する柔軟性と拡張性

●C++、Java™に対応したオブジェクト環境を提供

CORBAのC++およびJavaの言語マッピングをサポートしており、これらの言語によるオブジェクト開発が可能です。

●柔軟なスケーラビリティ

簡単なWebアプリケーションから大規模な分散アプリケーションまで、幅広く対応します。

●インターネット対応

VisiBroker Gatekeeperを使用し、IIOPをHTTPでカプセル化することにより、ファイアウォールの設定されている環境でも、サーバにアクセスすることができます。

IIOP: Internet Inter-ORB Protocol HTTP: HyperText Transfer Protocol

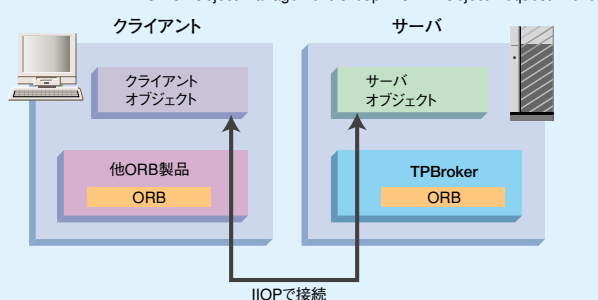
●マルチプラットフォーム対応

HP-UX、Solaris、AIX、Windows®XP、Windows®2000、Windows NT®、Windows®98、Windows®95に対応しています。

●他ORB製品との接続

OMGのCORBA2.1で規定されたIIOPをサポートし、他のORB製品と接続することができます。

OMG: Object Management Group ORB: Object Request Broker



TPBroker v3

ミッションクリティカルなシステムを支える運用支援機能

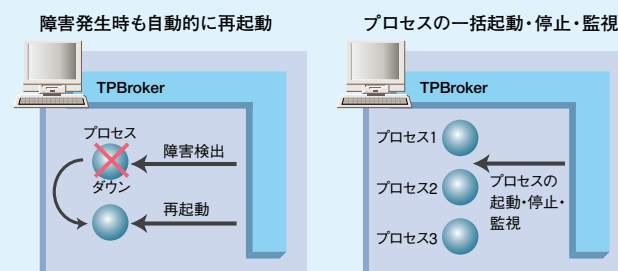
●システムやアプリケーションの障害時自動回復

システムに障害が発生しても、自動的に再起動。アプリケーションプログラムの障害の際も、トランザクションを自動的に回復します。

●複数のプロセスを一括管理

OTSやORBだけでなく、DBMSやアプリケーションプログラムなど、さまざまなプロセスの一括起動・停止・監視が可能。複数の独立したサブシステムを、1つのシステムとして運用することができます。

OTS: Object Transaction Service DBMS: DataBase Management System



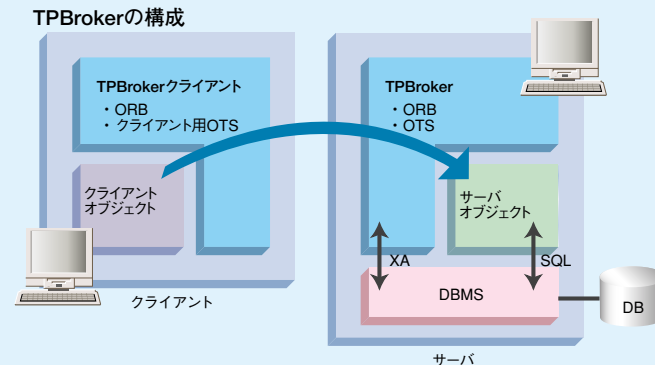
分散オブジェクト環境でトランザクション処理を実現

●CORBAのOTS機能

CORBAのOTSに準拠したトランザクション処理を行い、分散データベースなどにおける複数データベースでの更新同期が可能です。また、トランザクション処理中に障害が発生した場合でも、矛盾なく自動的にロールバック(トランザクション処理中のすべての変更の取り消し)を行います。

●XAインタフェースによるリソースマネージャとの連携

OTSのインタフェースに加え、XAインタフェースをサポート。OTSをサポートしていないリソースマネージャともトランザクション処理の同期を取ることができます。



高負荷・大規模なクリティカルシステムに対応するTPBroker OTM

TPBroker OTMは、処理の並列性を高めることができるマルチスレッド機能や、キューによるトランザクションの流量制御および負荷分散機能により、システム全体のパフォーマンス、スループットを向上させます。

OTM: Object Transaction Monitor

●安定性を確保するための拡張機能

処理の負荷を考慮したロードバランス機能や、キューによるスケジューリング機能、サーバオブジェクトプール機能により安定性を確保しています。

●多数のクライアントと接続するための拡張機能

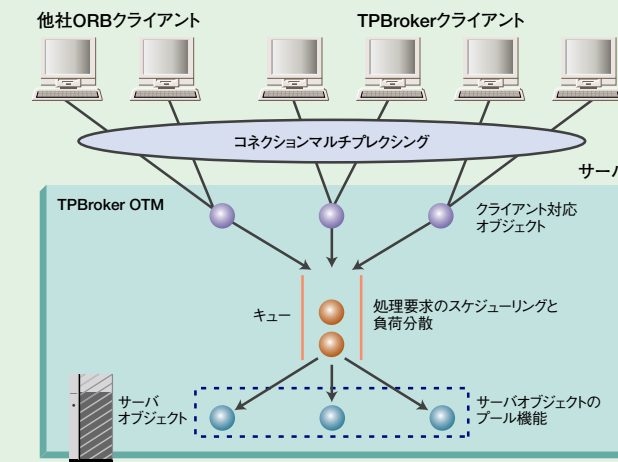
クライアントからの接続を集約する接続マルチプレクシング機能を提供しています。

●信頼性を確保するための拡張機能

時間監視機能により、異常をすばやく検知し、障害を局所化できます。

●他社CORBA製品と接続するための拡張機能

ORBゲートウェイ機能により、他社ORBクライアントもTPBroker OTMの機能を利用できます。



●サーバオブジェクト開発を容易にするフレームワーク

TPBroker OTMの上で稼働するアプリケーション(サーバオブジェクト)をスピーディーに開発するフレームワーク製品として、Framework-Core Kernelを用意しています。開発にはC++またはCOBOLを利用できます。